

今京雄作 （1856-1921） 美術教育家。嘉永二年六月十九日江戸生れ、昭和六年一月二十八日歿（一八五〇—一九三二）。號也軒、也軒主人、也軒道人、常眞居士、常眞老人、常眞道人、文峰、无礙庵、無礙庵、有常常眞居士等。昌平坂學問所に入り、また洋學塾に學ぶ。明治十年パリに留學、ラテン語・梵語・エジプト形象文字等の他、東洋美術史を研究。十六年歸朝後文部省御用掛となり、東京美術學校設立に盡力、教授を兼任。のち京都市立美術工藝學校校長、帝室博物館美術部長、大倉集古館館長等を務めた。考古學、造詣が深かつた。

著書に「茶道研究（茶器の見方）」（大正十一年九月一日國史講習會「文化叢書」）等。